

# 川崎市議会議員 いわくま ちひろ 肝炎ウイルス無料検査を受けよう

民進みらい  
川崎市議団

連載No.97

これまで、市議会において肝炎対策について継続して取り組んできました。

肝炎ウイルス検査の受診を促す広報物（成人式のパンフレットなど）の作成などについては、すでに議会で取り上げ行政に実施して貰っていますが、「まだまだ自分とは関係ない」「大丈夫だろう」と考えら

れている市民のみなさんも多いようです。

現在、日本には、B型C型肝炎ウイルスの感染者は、約350万人存在していると推定されています。潜在的な感染者の多くが、昭和63年まで行われていた集団予防接種によるものであると言われています。また、輸血やタトゥー（刺青）、ボテ

病院で内視鏡などの検査をされた方は、事前の血液検査に肝炎ウイルス検査の項目が入っているのが自身に感染しているかどうか分かるのですが、会社などで行われている健康診断や人間ドックの場合には、肝炎ウイルス検査についてはオプションになっているため通常言われておりません。自ら検査の希望をする必要があります。

**現在、川崎市では、市内の協力医療機関と各区の保健福祉センターで無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。**（詳しくは市のホームページを参考のこと）また、各区の保健福祉センターでの検査は、匿名で検査を受けることができます。

検査を受け感染が見つければ早期の適切な治療に繋がります。多くの市民のみなさんに、一度は肝炎ウイルス検査の受診をお願いしたいと思います。



川崎市議会議員 いわくま ちひろ

- 昭和50年生まれ 42歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー 溝口店前で市政報告を継続中！（10年10カ月）

た、輸血やタトゥー（刺青）、ボテイピアス、性的接触などでも感染します。一方、同じ空気を吸ったり触れることで感染することはありません。気付かないうちに、B型・C型肝炎ウイルスによる肝炎は慢性化しやすく、肝硬変や肝がんに進展することもあります。